

ニコニコ通信

「受けるよりは 与える方が幸いである」
(使徒言行録20章35節)

いつもニコニコ活動にご理解と協力を賜り、ありがとうございます。「社会の皆様に向けて頂いたご恩を絶対に風化させてはいけません。」弊社の再建当時、社会の皆様がお寄せ下さった温かい励ましに心より感謝しつつ、私達もまたこのご恩を社会の皆様にお返しできるようにと、先達の強い思いが我々の活動の礎であり、今後も変わらずまた次の世代へと笑顔の輪を繋いでいきたいと願っております。

今年度は、東京で第33回目・本社で第41回目となるニコニコチャリティバザーを天候に恵まれ盛況のうちに開催させて頂くことができました。両会場とも笑顔であふれる大変多くのお客様に会場いただき、ニコニコの輪が広がっていることを実感でき感謝の気持ちでいっぱいとなりました。また、お取引先様はじめ地域の皆様、社友の皆様からは多くの献納品を頂戴し、模擬店の設営に駆けつけて下さった皆様にも多大なご支援を賜りました。このような貴重なお力添えと時間とを与えて下さる皆様のお心に、改めて感謝申し上げます。

9月と10月には、首都圏と千葉地区を中心に大型台風15号・19号の被害に見舞われました。台風15号では当社が運送でお世話になっているライフサポート・エガワ様も甚大な被害に遭われました。ニコニコ活動にも長きにわたって深いご理解を賜り、東京バザーには毎年多くの献納品を頂戴しております。被災地域における一刻も早い平穏を祈りつつ、この災害に対する義援金として、ライフサポート・エガワ様、日本基督教団様のそれぞれに献金をお届けさせて頂きました。

また、近江八幡市内にある作業所様への定期的な訪問、加えて様々な理由で家族の元を離れて暮らす子ども達へのサポートにも引き続き取り組んでまいりました。今後も継続して、人と人が繋がる喜びの時を得させて頂き、皆様と「共に歩む」私達でありたいと考えております。

このニコニコ活動を通じて多くの方々と触れ合う機会を持ち、また同じ目的に向かって活動する仲間として一つになれる時を持たせて頂いていることに心から感謝し、いつも私

2019年度を終えて

ニコニコ推進委員長 山村徹

たちをお支え下さる皆様方に改めて御礼を申し上げます。次年度のご報告をさせて頂きたくも、ご支援ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

感謝

2019年度 実績報告書

期間 2019年3月1日～2020年2月29日

(単位：円)

期首募金残高	7,119,282	2019年度献金総額	9,491,309
2019年度募金総額	8,614,177	止揚学園	800,000
個人献金(3月度～2月度)等	6,193,281	近江八幡市内作業所	600,000
本社バザー収益金	1,058,850	滋賀県児童福祉入所施設協議会	500,000
東京バザー収益金	497,976	アジア教育友好協会(AEFA)	300,000
本社ロビー売上金(3割)	783,270	ワールド・ビジョン・ジャパン	100,000
よし名刺(7,600枚)	73,000	ライフサポート・エガワ(台風15号義援金)	500,000
ありがとうカード(139枚)	7,800	日本基督教団(台風19号義援金)	100,000
		その他のクリスマス献金等	192,420
		【積立金】100周年事業積立金	5,500,000
		期末募金残高	6,242,150

「昼食には皆でついたお餅を頂きました。おろし餅は「つきたてでないと美味しくない」と職員の方に言われ、半信半疑で食べ比べてみると確かにつきたての方が断然美味しかったです。最後にはセリ、ゴボウ、鶏肉を使ったお雑煮も頂きました。しつかり出汁から作られていて、セリの苦みを感じさせないぐらいとても美味しかったです。」

たくさんのお話を聞くこともでき、楽しいニコニコ訪問になりました。

品質管理部 中島 杏奈

初めての訪問という事もあり緊張していたのですが、明るい笑顔と挨拶で迎えていただき緊張もほぐれ、とても楽しい時間を過ごすことができました。お昼には皆さんと一緒にお餅を食べ、たくさんのお話を聞きました。施設内は埃一つなく汚れやすい水回りもキレイにされており、快適に過ごすことができると感じました。私が一番驚いたのは、園の方の服が柵に一人ひとりしっかりと分けられていた事です。衣類一つひとつに名前前の刺繍も入っており、丁寧に畳まれています。その人の好みに合った服が置いてあり、一人ひとりの個性を大切にしているのだという話を

学校建設プロジェクト



ファイバククッ小学校の給水設備が新しくなります。

2017年2月に開校した当社の学校建設プロジェクト2校目となるタイ・ファイバククッ小学校において、ラックスタイ財団が水質検査を行ったところ、高い数値のバクテリアに汚染されていることが分かりました。

貯水槽に大量の藻と、水を濾過するためのフィルターが壊れているた



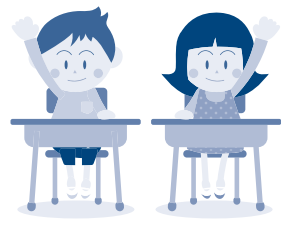
めに泥が溜まっていることが原因でした。フィルターを交換する予算がなく、7年間も使い続けた結果このような状態になってしまったようです。検査薬に反応して変色した水を目の当たりして、子供たちも教師も汚染への不安と水質を守ることを大事さに改めて気付かされたことと思います。

その後、AEFA谷川理事長が現地を訪問、村の人たちとの会議もたれた結果、ニコニコ献金(基金)で給水設備が新装されることが決まりました。子供たちに安心・安全な水を届けるため、1日も早い完成が待ち望まれます。



皆様のご支援、ご協力のおかげで2019年度も無事に終えることができました。

ニコニコ推進委員会



第41回 ニコニコチャリティバザー(本社)

事業推進本部 田中 真由美

11月9日、ニコニコチャリティバザーが開催されました。前日準備ではとても寒く心配していましたが、当日は雲ひとつない晴天に恵まれ、とても暖かいおだやかな日となりました。

昨年はフランクフルトを担当しましたが、今年は食堂部デビュー。大量の食材を切ることは覚悟していましたが、2〜3升のお米を一度に洗った経験はなく、何もかもが大量で緊張しながらの作業でした。野菜を切ったり、ゴボウのササガキや洗米など、普段の運動不足がたたり、情けないことに全身筋肉痛になりました。バザー当日は、豚汁や炊込みご飯が大人気でどんどん売れていると聞いた時、食堂で「とても美味しかった〜」の言葉と共にお客様が笑顔で帰っていかれた時、張りつめていた気持ちがほぐれ頑張った甲斐があったなあと、とても嬉しい気持ちになりました。また、片付けや後始末等では先輩方の見事な連携のおかげで思っていたよりも早く終わることができ、いろいろなことを勉強

強させていただきました。皆様の協力のもと、無事に終了したことに感謝いたします。

大阪営業所 辻 朋子

当日は雑貨売り場を担当しました。化粧品を目当てにされているお客様は多く、開始直後は非常に賑わっており対応に追われました。売り場にあったアルコールスプレーの使い方などをお客様に説明した際、商品に興味を持たれていた方だけ



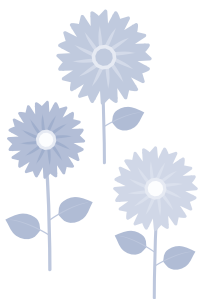
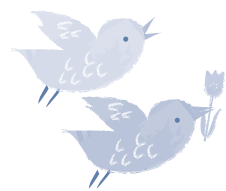
なく、商品を気にかけていなかった方も購入してくださいました。何かあったら、何本も在庫があったアルコールスプレーが最終的に数本になり、達成感を感じました。

目当てとするものが購入出来たらうれしいですが、欲しいと思える商品を探し出す楽しさがあるのもバザーの醍醐味であると思うので、私の献納品もどなたかお客様の目に留まって購入していただければと思います。今回はじめて参加して、このバザーがお客様とふれあうことができる貴重な機会であり、また、多くのお客様に支えていただいていた事ができているということが分かりました。



製造部 塩崎 祥也

今回初めてニコニコチャリティバザーに参加しました。みたらし団子を担当させていただくことになったのですが、今まで焼いたこともなかったので少し不安でした。でも、いざやってみると思ったより上手くでき、慣れると楽しみながら焼くことができました。バザーの始まる時間が近くなり、たくさんのお客様がシャッターの前で待っていたので結構忙しくなるのかなと思っていましたが、開いた瞬間にほとんどのお客様が雑貨売り場に行かれたので最初はあまり売れませんでした。しかし、雑貨売り場から帰ってこられた方に次々と買ってもらえたので、お昼頃までは順調に売れていました。でも終わりの時間が近づくにつれて売れなくなり、お客さん呼び集めるのが大変でした。何とか無事に終わり、充実した一日になったなと思いました。



第41回ニコニコチャリティバザー収支報告書(本社)	
2019年11月9日(土)開催	
【収入の部】	
売上高	1,507,213
当日売上	982,363
金券・ワイン・どらやき・あられ(前売)	524,850
特別献金	251,000
【支出の部】	
仕入高	584,933
雑貨仕入・食材費等	180,565
ワイン・どらやき・あられ	404,368
経費	114,430
光熱費等	
収益金	¥1,058,850

バザーの収益金は、災害に遭われた地域の復興支援のために、また、様々なハンディキャップを持つ方々の支援に力を注がれている団体を中心に、その全額を献金としてお届けします。

ニコニコ訪問 止揚学園

事業推進本部 東 啓子

12月19日、山村社長・中島姉・野崎兄と共に止揚学園を訪問させていただきました。この日は久友会主催のお餅つき大会で、皆様と一緒に楽しく懐かしい時を持たせていただきました。深く感謝いたします。天候にも恵まれ、「よいしょ!よいしょ!」の掛け声と笑顔のなかでついたお餅を、おろし餅・きな粉餅・あんこ餅・お雑煮用にと丸め、皆様と共に美味しくいただきました。

再建当時、支えてくださった方々へ、心で思い行動で示す感謝の一つとして1978年から始められたニコニコ活動。今回の止揚学園への訪問で、忘れていた温かい優しさ・共に生かされる喜びを再び思い起こすことが出来たと同時に、それらが「今ここにある!」と気づき、何かも目で見ることでできないものに包み込まれた温かい気持ちとなりました。今後これらの気持ちと心を忘れることなく、ニコニコ活動を継続させていただきたいと祈り願います。



製造部 野崎 聖哉

今回の訪問の目的は、クリスマス献金のお届けと餅つきをすることでした。皆さんがとてもニコニコしている姿を見ると楽しみにされていたことが分かり、私までニコニコになりました。

昼食の準備が出来るまで職員の方が施設を案内してくださいました。施設内には小ホールやお風呂、パンやクッキーが焼ける場所までありました。特に印象的だったのは園の方が陶器に絵を描く作業をされている場所、施設内にはタイルに描かれた絵が至る所に飾ってありました。小さな美術館に居るみたいで楽しかったです。